

学校生活に関するアンケート結果から

平成28年度は、別資料のアクションプランのように2つのポイントに重点をおいて実践を進めてきました。学力の向上に関しては、ねらいを明確にした授業を構想し、目的に応じた言語活動の充実を図ってきました。よりよい校風づくりでは、生徒会やPTAの活動と連携を図り、活動のねらいや意義を踏まえて積極的に取り組む生徒の育成を目指してきました。

アンケート結果からは、学校が楽しい、楽しんで学んでいると回答した生徒、保護者が90%を超えています。学校と生徒との関係は概ね良好であると考えられます。ほとんどの項目において、学年が進むにつれ、評価が高く示されているので、有用感や成就感を味わっていると思われます。しかし、アクションプランであげた項目の授業規律について意識をもって取り組めた生徒は63%、授業がよく分かる63%、自分の考えを表現できるは48%と評価値がよくありませんでした。また、元気な挨拶ができた63%、積極的な生徒会活動への取組72%、配慮に欠けた言動がないように気を付けた80%と目標達成に到りませんでした。前年度からの弱点部分でもあり、向上を図りましたが、十分に高めることができませんでした。次年度に向けて取組方の工夫や保護者や地域と連携していく必要があると考えています。

家庭学習については、生徒と保護者の評価結果に差が見られ、保護者は生徒よりも長い時間学習していると思っています。子供の学習ノートを見たり、学習の様子を伺ったりするなど家庭学習への支援をしている保護者は少ないようです。

学校への意見等には次のような感想や要望がありました。支援していただける思いを励みにできる限り要望に対して善処していきます。

- ・スマホ、ネット等によるトラブルが多いように思う。中学生の間はスマホは買わないと決めているが、保護者と生徒で話し合いができる機会があればと思う。
- ・部活動をもっと盛り上げて欲しい。試合に勝つ練習内容を生徒、コーチ、顧問と話し合っ
て欲しい。温度差があるようだが勝つ試合を期待したい。
- ・月に1度ぐらいは部活動のない平日があってもよいのでは。
- ・思春期なのか、目上の人への言葉遣いが荒くなっている。家庭では筋の通らない言葉遣い
には制裁を加えている。体罰だと言われるが学校内でも筋が通っていれば多少の制裁はよ
いと思う。自分の痛みを知って人の痛みを知ると思う。
- ・勉強や生徒会の仕事のことを毎日話してくれるので、安心している。毎日何をすればよ
いか1週間単位でも考えて行動しているようだ。一生懸命こなそうとしているので指導のお
かげと感謝している。様々な行事がお知らせ等で分かるのでありがたく、日程表に書き込
んでいる。
- ・保護者会で子供の様子を「悪目立ち」と注意された。注意そのものはありがたいが、適切
な表現なのか疑問に思う。保護者として適切に評価されていないのではと感じた。信頼関係
が築かれているのか分かるような活動の在り方を希望する。
- ・封筒に記名するのでは無記名アンケートの意味が無い。
- ・「お子様を通じてお知らせします」とよくあるが、保護者に伝わっているか、確認するべ
きである。伝わらなかつたら子供が悪くなるように仕向けているとしか思えない。
- ・公開が足りない。保護者や地域の人に理解してもらえない部分が多い。
- ・「前年度と同様」では何もよくなるらない。